

資源管理型漁業推進総合対策事業調査

(地域重要資源：マガレイ・マコガレイ・イシガレイ)

小 泉 広 明・蝦 名 政 仁・山 田 嘉 暢

本調査は2年間継続して実施しているので、全体のとりまとめは平成6年度におこなう（今年度は概報とした）。

(対象地区：三沢～階上地区、対象漁業：刺網)

1. 水揚量・単価調査

(1) マ ガ レ イ

青森県での漁獲量は、昭和63年の843トンを最高に近年は500～600トンで減少傾向にあり、平成5年の漁獲金額は940百万円であった。三沢～階上地区の刺網では平成元年の11トンを最高に、平成5年は4.6トン・5.3百万円であった。平成5年の三沢市漁協における平均単価は854円であった。三沢～階上地区での主漁法は小型機船底曳網漁業であり、刺網のウエートは低い。

(2) マ コ ガ レ イ

青森県での漁獲量は、平成5年の208トンが最高で近年は増加傾向にあり、平成5年の漁獲金額は289百万円であった。三沢～階上地区の刺網では平成5年が77トン・99百万円と過去最高で、平成3～5年はそれ以前の年と比べて非常に漁獲量が増加している。平成5年の三沢市漁協における平均単価は1,340円であった。三沢～階上地区ではほとんどが刺網による漁獲である。

(3) イ シ ガ レ イ

青森県での漁獲量は、昭和63年の202トンを最高に近年は114～195トンで減少傾向にあり、平成5年の漁獲金額は119百万円であった。三沢～階上地区の刺網では平成2年の35トンを最高に、平成5年は7.1トン・8.3百万円と減少傾向にある。平成5年の三沢市漁協における平均単価は1,230円であった。三沢～階上地区ではほとんどが刺網による漁獲である。

2. 標 本 船 調 査

(1) マ ガ レ イ

階上漁協所属の標本船の記録では、5～8月には全く漁獲されなかった。

(2) マ コ ガ レ イ

階上漁協所属の標本船の記録では、5～8月には平均して漁獲されていた。

(3) イ シ ガ レ イ

階上漁協所属の標本船の記録では、6～8月に漁獲されていたが、マコガレイに比べて非常に少なかった。

3. 市 場 調 査

(1) マ ガ レ イ

三沢市漁協では例年5月をピークに漁獲されているが、その時期以外は漁獲量が少ない。

(2) マ コ ガ レ イ

三沢市漁協では平成4年から、産卵期である1～2月をピークに漁獲されており、この2ヶ月間で

平成4年は年間漁獲量の50%を、平成5年は54%を漁獲している。また、この時期以外もほぼ平均して漁獲されている。

(3) イシガレイ

三沢市漁協では例年5～10月に漁獲されている。

4. 魚体測定調査

(1) マガレイ

平成5年5月から平成6年3月にかけて、565個体について、全長、体長、体重、除去重量、肝臓重量、生殖腺重量、胃内容物重量の測定を行った。G S I（（生殖腺重量／内臓除去重量）×100）調査の結果から産卵期は4～5月と推定されたが、平成6年度の資料を含めさらに検討したい。

(2) マコガレイ

平成5年5月から平成6年3月にかけて、892個体について、全長、体長、体重、除去重量、肝臓重量、生殖腺重量、胃内容物重量の測定を行った。G S I（（生殖腺重量／内臓除去重量）×100）調査の結果から産卵期は1～3月と推定されたが、平成6年度の資料を含めさらに検討したい。

(3) イシガレイ

平成5年5月から平成6年3月にかけて、360個体について、全長、体長、体重、除去重量、肝臓重量、生殖腺重量、胃内容物重量の測定を行った。G S I（（生殖腺重量／内臓除去重量）×100）調査の結果から産卵期は12～1月と推定されたが、平成6年度の資料を含めさらに検討したい。

5. 試験操業調査（生存率調査）

調査は平成5年5月12日から平成5年11月30日までに9回実施した。刺網の浸漬時間は24時間とし、採捕魚は船底の活魚槽に収容し、漁港に持ち帰ってから陸上水槽に収容し、一定時間後の生存率の調査を行った。平成5年5月12日は漁獲から24時間後、以降の調査では6時間後の生存尾数を計数した。魚種ごとの調査尾数と生存率は以下の通りであった。

(1) マガレイ

24尾を調査し、生存率は91.7%であった。

(2) マコガレイ

77尾を調査し、生存率は97.4%であった。

(3) イシガレイ

6尾を調査し、生存率は100%であった。

6. 標識放流調査

平成5年5月12日から平成5年11月30日までに9回、試験操業調査で漁獲し、生存率調査を行った後の魚体に白色ディスク、もしくは緑色ディスクを装着し、三沢市漁港沖合の水深30m地点に放流した。放流尾数と平成6年3月までの再捕は以下の通りであった。

(1) マガレイ

36尾放流し、1尾が三沢市沖で再捕された。

(2) マコガレイ

118尾放流し、24尾が再捕された。再捕場所は全て三沢市沖であった。

(3) イシガレイ

7尾放流し、2尾が再捕された。再捕場所は1尾が三沢市沖、1尾は岩手県久慈市久喜沖で再捕され、61日間で約70kmの移動であった。